

自分の考えや見方・考え方を明らかにする活動の工夫

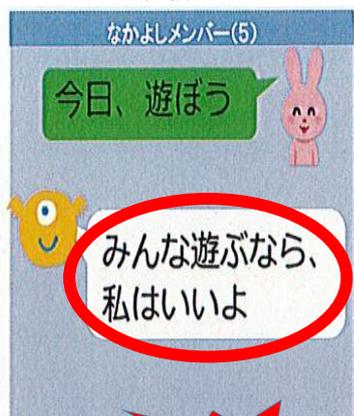
言葉の受け取り方の差異の理解とよりよい表現を考える活動

SNS上の言葉の受け取り方の違いからトラブルを抱える生徒はいませんか？

言葉や表現の受け取り方には人によって差異があることを共有し、自分も相手も気持ちよくやり取りすることができるような表現を考えるための実践です。

① SNS上の言葉に込められた気持ちを考える。

事例



「みんな遊ぶなら、私はいいよ」

発信者はどんな気持ちでメッセージを送った？

「私はいいよ」だから遊ぶのを遠慮している気持ちだよな～。

「私はいいよ」だから、みんなで遊びたいって気持ちだよな？

受信者はこのメッセージを受け取ったらどんな気持ち？

このメッセージは「遊びたい」のか「遊びたくないのか」分からない。

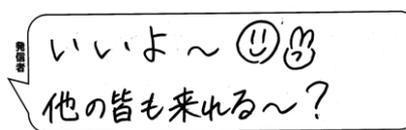
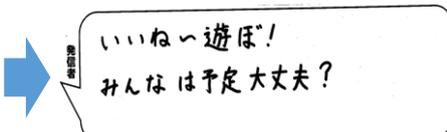
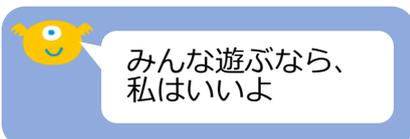
2人では遊びたくないのかな～って思っちゃう。

ポイント！

言葉の受け取り方は人それぞれ違うことに気付く。

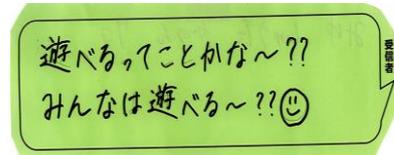
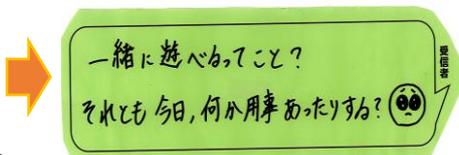
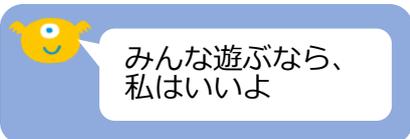
② SNS上の表現を適切な表現に書き換える。

発信者の気持ちが伝わるようなメッセージを考えよう。



このメッセージをどう言い換える？

受信者はどのようなメッセージを返せば気持ちよくやり取りできるか考えよう。



このメッセージにどう返信する？

ポイント！

相手の気持ちに配慮した誤解を与えないような表現を考える。

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善のポイント

他者との交流活動を通して、人によって言葉の受け取り方には違いがあることに気付きます。自分の意図を誤解なく伝えることの難しさを実感しながら、他者と気持ちよくやり取りするために大切なことについての理解が深まります。